

## 関係代名詞 &lt;ページ1&gt;

## ◆「関係代名詞(かんけいだいめいし)」とは…◆

名詞を「修飾」する時に使われるもの。

「修飾」はいろいろなパターンがあるんだけど、その中の1つが、

関係代名詞を使うパターンです(^o^)

※「修飾」については、「修飾という考え方」のプリントで詳しく学んでみてね。

「修飾」について少し復習すると、例えば、

・その女の子は、歌手だ。

これは「修飾」部がない文。

この文に出てくる「(その)女の子」や「歌手」という名詞に対して、

「どういう女の子」なのか / 「どういう歌手」なのか という説明を付け加えるのが、「修飾」部の役目。

1. 毎日テレビに出ているその女の子は、歌手だ。
2. 犬と遊んでいるその女の子は、歌手だ。
3. その女の子は、若者に人気のある歌手だ。
4. その女の子は、昨年ニューヨークでデビューした歌手だ。

部が修飾部。

「これこれこういう女の子」、「これこれこういう歌手」と、の名詞を修飾しているね。

ちなみに、いま例に挙げた文(1.~4.)の「修飾」は、すべて関係代名詞を使って書けるのだ！  
後ほど try してみましょうね♪

## ① 「主格(しゅかく)」の関係代名詞

例えば、

Lucy is a teacher who is liked by everyone. ルーシーは皆に好かれている先生です。

↓

名詞を「修飾」する形が入っている英文だね(^o^)

この英文は、もともと、次の2つの英文から成り立っています。

Lucy is a teacher. / She is liked by everyone.

ルーシーは先生です。 / 彼女は皆に好かれています。

この2つの文を、1つにつなげてみると、

Lucy is a teacher she is liked by everyone. (←2つの文をそのままくっつけただけ)

…とはならず、

Lucy is a teacher **who** is liked by everyone. (ルーシーは皆に好かれている先生です。)

と、なります。 さあ！ ↑ここが何やら変化したよね！

この **who** が、名詞を修飾する時に使われる(「修飾」してるよ！ということを示している)

「関係代名詞」なのです(^▽^) ※関係代名詞の who は「誰」という意味にはならないので注意！

しかも…

この例文で言うと、who は、もともとは “she” だったよね。そしてこの she は、

もともとの文(2つあった文のうちの2番目の文: She is liked by everyone.)の中の、主語。

主語である she の代わりに使われる who は、「主格(しゅかく)」の関係代名詞、と呼ばれるのです。

→ これ大事なポイント！ しっかり頭に(心に?)刻んでおいてね。(。)